

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17104007	同位体による先太陽系史と太陽系創成期の解明	塚本 尚義 (北海道大学・大学院理学研究院・教授)	A
<p>本研究は、太陽系形成前から太陽系創成期における物質進化と構成物質の形成史について、太陽系内に現在みられる酸素同位体の不均質分布を説明できる実証的モデルを構築することを目的とする。</p> <p>最も重要な分析機器である同位体顕微鏡の研究代表者の転勤に伴う移設という困難も克服し、上記研究目的に沿って隕石の系統的な記載も順調に進んでおり、共同研究者との連携も有機的かつ効率的に進んでいると判断できる。研究代表者らのモデルから予想される <math>^{16}\text{O}</math> の欠乏した (<math>^{17}\text{O}</math> と <math>^{18}\text{O}</math> に富んだ) 酸素同位体を持つ隕石を発見したこと、太陽の酸素同位体比が <math>^{16}\text{O}</math> に富んでいることが GENESIS 計画で裏付けられたことなど、目的達成に向けて重要な成果が既に得られている。</p> <p>残りの期間、計画通りに研究を進めれば、現実的な太陽系形成モデルを世界に先駆けてつくり上げることができると思込まれる。</p>			